

一向一揆興亡史 (越前関連年表)

文明3年7月(1471)

蓮如吉崎に道場を開く。蓮如 57歳

文明6年(1474)

加賀国で内紛勃発 富樫幸千代 兄 正親を追放し実権を握る。

同年

正親、一向宗徒の助力を要請。加賀国一向一揆衆一斉蜂起、幸千代、高田派を撃破勝利する。

7年(1475)

加賀の支配者となった富樫正親、一向宗徒の権勢を恐れ、弾圧する。加賀国騒乱。一向宗徒敗れ、越中に逃れる。

同年5月7日

蓮如 10カ条の掟を発し、門徒衆の戦闘行為を禁止。

同年8月21日

蓮如吉崎退去。蓮如 61歳

13年2月(1481)

越中で一向一揆蜂起 正親と同盟していた石黒光義(越中蛸波城主)を滅ぼす。一向宗徒 越中・加賀で勢力を増し騒乱を起こす。越前にも波及する。

同年7月16日

本願寺と対立していた越前守護職 朝倉孝景 死去 54歳

16年(1484)

朝倉氏に敗れ越前から駆逐された前越前守護代甲斐氏旧家臣が加賀一向宗徒と連合し越前侵攻を開始。

長享(ちょうきょう)2年6月9日(1488)

加賀一向一揆 富樫正親を攻め、殺害する。

延徳(えんとく)元年(1489)

一向一揆勢が加賀国を支配。本願寺領国となる。

明応8年5月5日(1499)

本願寺八世 蓮如死去 85歳

永正元年8月(1504)

謀反の疑いで朝倉貞景に追放された一族の重臣朝倉元景が加賀一向一揆衆とともに越前に侵攻するが撃退される。

永正3年7月(1506)

能登、加賀、越中の一向一揆勢が越前に侵攻。それに越前の一揆勢が呼応し、総勢30万(誇張あり)の大軍が坂井町、丸岡町に集結。一乗谷へ進軍。朝倉勢1万1千が中角(福井市)で陣を張り、九頭龍川を挟んで両軍対峙する。8月2日、鳴鹿～中角の間

点である中の郷で決戦の火蓋が切られる。朝倉勢の大勝利に終わる。勢いを得た朝倉当主貞景は越前における一向宗（本願寺派）の禁止政策をとり、吉崎道場をはじめとして本願寺派の諸寺院、道場を破却、土地財産を没収し、坊主門徒を国外追放した。

永正4年8月（1507）

加賀一向一揆衆が越前に再侵入、帝釈堂の合戦。朝倉勢が勝利し、以降本格的戦闘止む。

永禄3年5月19日（1560）

織田信長、桶狭間で今川義元を討つ。この後、信長急速に勢いを増し、本願寺領を侵し本願寺と対立する。

永禄11年10月（1568）

畿内を平定した信長は上洛し、足利義昭を15代将軍に据える。

信長、畿内に矢銭（軍用金）を課す。本願寺五千貫。堺二万貫。

元亀（げんき）元年6月（1570）

近江国姉川で織田・徳川連合軍と浅井・朝倉連合軍が戦う。（姉川の戦い）織田・徳川方の勝利。

同年9月

石山本願寺（11世法主顕如）反信長で決起。織田軍と本願寺軍勢が激突。（石山合戦）顕如各地の一向宗徒に信長討伐の激を発す。

元亀2年5月（1571）

激に呼応し伊勢長島で一向宗徒蜂起。信長大軍を率いて出陣するも、鉄砲集団雑貨衆（さいかしゅう）のゲリラ戦術により撤退。（第一次長島一向一揆）

同年6月

朝倉義景、本願寺と和解。本願寺顕如の子・教如（12世法主）に娘を嫁がせる。

同年9月12日（1571）

信長、延暦寺を攻める。延暦寺を焼き払い大虐殺に及ぶ。

天正（てんしょう）元年2月（1573）

足利義昭、信長と対立。武田信玄、浅井長政、朝倉義景に信長討伐の挙兵を促す親書を送る。

同年4月12日

武田信玄死去。享年53歳

同年7月

信長、義昭を追放する。室町幕府滅亡。

同年8月

信長、近江、越前に出兵。浅井長政、朝倉義景を滅ぼす。

同年9月

信長 長島征伐に出陣するも目的を達せず撤兵。（第二次長島一向一揆）

天正2年(1574)2月

越前で信長が任命した代官、重臣(旧朝倉家臣)の内紛に乗じ、越前一向宗徒は加賀一向宗徒の助力を得て北の庄を攻め、これらを討ち、越前支配の足がかりとする。

同年4月

一揆衆、金津の溝江館を襲い、溝江景逸(かげやす)、長逸(ながやす)親子、東前寺日英勝(ひでかつ)ら溝江一族郎党を殺害する。

さらに平泉寺に土橋信鏡(つちはしのぶあきら)こと朝倉景鏡(かげあきら。朝倉義景の従弟。織田氏と内通し義景を裏切る)を攻め殺害。ここに越前は本願寺領国となる。

同年6月

信長、大軍を率いて伊勢長島に出陣。8月長島一向一揆を殲滅する。(第三次長島一向一揆)

天正3年(1575)

越前では本願寺からの天下り代官が領地を支配。領民に重税、過酷な賦役を課すなど横暴を尽くす。地侍、一向宗徒が反発し、本願寺への不満が募り騒乱が起きる。

同年5月

織田・徳川連合軍、長篠で武田軍に勝利し、信長の野望「天下布武」に大きく前進する。

同年8月14日

越前一向一揆成敗のため、信長大軍を率いて敦賀城に入城。一揆勢は越前と若狭の国境の峠(南条。木の芽峠)に布陣し決戦に備える。しかし、先の騒乱の影響で一揆勢は相互の連携が欠け、士気、戦闘能力は著しく低下していた。

杉津砦の守備隊長であった堀江景忠(かげただ)は織田方と内通し、裏切ったため一揆勢は総崩れとなった。信長は一向宗門徒の皆殺しを命じ、大虐殺がおこなわれた。

天正4年5月(1576)

毛利輝元、上杉謙信ら有力大名が信長包囲網形成に動く。その知らせに勢いを得た本願寺顕如、信長との決戦を決意、畿内の信徒に動員令を発す。織田方、天王寺に砦を築き本願寺を攻める。戦いは織田方の勝利に終わり、本願寺方は石山に籠城する。信長は石山本願寺を包囲し、石山への補給路を断つ。

同年同月

前田利家、越前府中(武生)にて一揆衆千名余りを磔、釜ゆでにて虐殺する。

天正6年3月13日(1578)

上杉謙信死去。享年49歳

同年10月

荒木村重、毛利、本願寺と通じ伊丹にて信長に反逆する。有明城(伊丹)にて1年余り籠城するも抗しきれず、天正7年12月落城する。村重脱出するも、一族郎党虐殺される。

天正8年3月(1580)

勅命により信長と本願寺が講和し、顕如石山を退去する。しかし教如は石山に留まる。

その教如も 8 月 2 日石山を去り、石山は信長の支配地となる。その後火災が発生し、本願寺焼却する。信長と一向一揆の戦いが終結する。

石山本願寺跡地は後に秀吉により築城される。(大阪城)

同年 3 月 9 日

柴田勝家、佐久間盛政が加賀一向一揆の拠点、金沢御坊を攻め、破却する。

長享 2 年 6 月 9 日 (1488) 加賀一向一揆衆が領主富樫正親を滅ぼし、一向一揆衆が支配し戦国大名の介入を 92 年にわたり許さなかった一向宗徒の自治国家はここに滅ぶ。

天正 10 年 6 月 2 日 (1582)

織田信長、京都本能寺にて明智光秀の謀反により殺害される。享年 49 歳